

## ABSTRACT

本発明は薄膜磁気ヘッドの書き込み素子の改良に向けられている。前記書き込み素子において、第1のコイル及び第2のコイルは、第1の磁性膜の一面上に形成された第1の絶縁膜の上に設けられ、バックギャップ部の周りを、渦巻き状に周回する。第1のコイル及び第2のコイルは、一方が、他方のコイルターン間のスペースに、第2の絶縁膜を介して嵌め込まれ、同一方向の磁束を生じるように接続されている。前記第1のコイル及び前記第2のコイルのいずれか一方は、ポール部及びバックギャップ部と、第2の絶縁膜を介して隣接し、隣接する前記側面は、断面形状でみて、下方で狭く、上方に向かうほど広くなるテーパ角を有している。前記第1のコイル及び前記第2のコイルは、上面が導体面による同一平面を構成している。